

Seating Planner

ユーザマニュアル

1. プログラムについて

本プログラムは結婚式を想定した席次決定支援アプリケーションであり、参加者は個人であれ団体であれなんらかのグループに所属していると仮定している。

2. 各画面の部品と働き

2.1 データ入力

The screenshot shows the 'Seating Planner' web application. The browser address bar shows the file path: file:///C:/Users/Kei%20Hashimoto/Desktop/アルゴリズムとデータ構造/sp/sp/index.html. The application has a dark navigation bar with 'Seating Planner', 'Home', 'Document', and 'Credit' links. The main content area is divided into two sections: 'テーブル' (Table) and 'グループ' (Group).

テーブル (Table) Section:

- ①: Input field for '最高座席数' (Maximum Number of Seats).
- ②: '追加' (Add) button.
- ③: '削除' (Delete) button.
- ④: '読み込み' (Load) button.
- ⑤: '保存' (Save) button.

グループ (Group) Section:

- ⑥: '新規グループ' (New Group) input field.
- ⑦: 'カテゴリ' (Category) dropdown menu.
- ⑧: '追加' (Add), '削除' (Delete), and '開閉' (Open/Close) buttons.
- ⑨: '名前' (Name) input field.
- ⑩: '年齢' (Age) input field.
- ⑪: '役職・肩書き名' (Position/Title Name) input field.
- ⑫: 'すべて開く' (Open All) button.
- ⑬: 'すべて閉く' (Close All) button.
- ⑭: 'Previous' button.
- ⑮: 'Next' button.

参加者や、会場のテーブル数等のデータを入力するページ。番号があてられたボタン等の説明を記す。

- ① 会場のテーブル毎に用意できる最大の座席数を入力する箇所。
- ② クリックすることでテーブルの数を追加できる。
- ③ クリックすることでテーブルの数を減らすことができる。
- ④ 一度保存したデータを読み込む。前回途中まで入力して、途中から再開したい時等に利用可能。
- ⑤ 入力してあるデータを保存する。④の読み込みで保存した状態から再開できる。
- ⑥ 式に出席するグループを入力する箇所。
- ⑦ グループがどういったグループなのかを主賓、上司、恩師、同僚、友人、親族の中から選択する箇所。
- ⑧ クリックすることでグループの構成員のデータを表示または非表示にするボタン。入力が終わったグループを閉じ、スクロール等の手間を減らす場合等に使用。尚、隣にある追加、削除ボタンは②、③と同様の物な

ので説明は割愛。

- ⑨ 参加者の名前を入力する箇所。
- ⑩ 参加者の年齢を入力する箇所。
- ⑪ 任意で参加者の役職や肩書、間柄等を入力する箇所。記入しなくても構わない。
- ⑫ 全てのグループの構成員を非表示にするボタン。
- ⑬ 全てのグループの構成員を表示するボタン。
- ⑭ クリックすることで1つ前の手順に戻る。次の手順以降で使用可能。
- ⑮ クリックすることで次の手順に移る。

2.2. グループ序列の決定

Seating Planner x

file:///C:/Users/Kei Hashimoto/Desktop/アルゴリズムとデータ構造/sp/sp/index.html

新しいフォルダ

Seating Planner Home Document Credit

新規席次作成

1. データの入力 2. グループ序列の決定 3. 肩書き序列の決定 4. メンバー序列の決定 5. 結果

各カテゴリ内におけるグループの序列を決定してください。

主賓

主賓

上司

SMAP
TOKIO
嵐
V6

恩師

元AKB48
ヤンクミ

file:///C:/Users/Kei Hashimoto/Desktop/アルゴリズムとデータ構造/sp/sp/index.html#createWizard-h-1

それぞれのカテゴリ内でグループの序列を決定するページ。上から順番に序列が高くなっている。グループ名の書かれた枠をクリックしたまま移動させることで序列を変更することができる。変更が終わったら、ページの一番右下にある **Next** ボタンで次の手順に移る。

データの不備があれば、**Preview** ボタンで一つ前の手順に戻る。

2.3. 肩書序列の決定



それぞれのグループ内で肩書の序列を決定するページ。2.2 と同様の操作で変更が可能。

2.4. メンバー序列の決定



これまでの操作から決定した暫定的なグループ毎の序列を表示するページ。変更したい点がある場合はこれまでと同様に参加者の名前をクリックしたまま移動することで変更が可能。

2.5. 結果

Seating Planner

file:///C:/Users/Kei%20Hashimoto/Desktop/アルゴリズムとデータ構造/sp/sp/index.html

Seating PlannerHomeDocumentCredit

新規席次作成

1. データの入力

2. グループ序列の決定

3. 肩書き序列の決定

4. メンバー序列の決定

5. 結果

決定された席次は以下の通りです。

テーブル1

| 名前 | 年齢 | 所属カテゴリ | 所属グループ | 役職・肩書き |
|------|----|--------|--------|----------|
| 秋元康 | 55 | 主賓 | 主賓 | プロデューサー |
| 中居正広 | 42 | 上司 | SMAP | エア・ヴォーカル |
| 木村拓哉 | 42 | 上司 | SMAP | メインヴォーカル |
| 稲垣吾郎 | 41 | 上司 | SMAP | リーダー |
| 草野剛 | 40 | 上司 | SMAP | 俳優 |
| 香取慎吾 | 39 | 上司 | SMAP | ヴォーカル |
| 森且行 | 36 | 上司 | SMAP | 元メンバー |

テーブル2

| 名前 | 年齢 | 所属カテゴリ | 所属グループ | 役職・肩書き |
|---|----|--------|--------|--------|
| file:///C:/Users/Kei Hashimoto/Desktop/アルゴリズムとデータ構造/sp/sp/index.html#createWizard-h-4 | | | TOKIO | リーダー |

これまでの操作により決定した席次を表示するページ。上から順に序列が高くなっている。

3. Q&A

Q. 「肩書き」を入力しなくてもよいとのことですが、「肩書き」を入力することにはどのような意味があるのですか？

A. 「肩書き」を入力すると、「メンバー序列の決定」が楽になることがあります。

「メンバー序列の決定」の操作では、グループのメンバーが表示され、ユーザーが序列を上座から順に設定するようになっています。このとき、メンバーは入力順ではなく、予め肩書きと年齢に基づき、ある程度アプリケーション側によって並べられた状態で表示されます。ユーザーは、機械的に決定された序列を多少修正すればよいということになります。

「肩書き」が入力されていない場合、アプリケーションは「年齢」のみによって序列を決定するため、実際の序列と異なる箇所が多くなる可能性があります。一方で「社長」「中学 3 年のときの担任」のように、非常に少数のみが持つ肩書きであったり、肩書きを細分化した場合には、「肩書きの序列の決定」の操作が事実上「メンバー序列の決定」の操作のようになり煩雑に感じられるかもしれません。

このように、「肩書き」はあくまで「メンバー序列の決定」の操作を補助するための情報ですので、適度な情報密度を持って入力されることを推奨します。

Q. Seating Planner がおかしい席次を提示してくるのですが何故ですか？

Q. 上座のテーブルに序列が下のグループのメンバーが混ざっているのは何故ですか？

A. グループ別に相席なしでテーブルを割り振るにはテーブルが足りなかったからです。

本アプリケーションでは、テーブルへのメンバーの配置を行う際、なるべくグループ間での相席をしないような方法をとっています。具体的には、「テーブルの定員の半分以上を 1 つのグループで専有できない場合に限り、他のグループと相席になる」というものです。

この規則に厳密に従ってすべてのグループをテーブルに配置しようとすると、入力されたテーブル数では足り

なくなる場合が発生します。このとき、溢れてしまったグループのメンバーは、まだ余裕のあるテーブルを下座のテーブルから順番に探し、そのテーブルに相席という形になります。その結果、序列が下のグループのメンバーが上座のテーブルに配置される可能性があります。

この結果を改善するためには、会場に用意するテーブル数を増やすか、テーブル1つあたりの最大座席数を増やしてください。

Q. 「新郎側」と「新婦側」で参加者を分けて、テーブルも別々にしたいのですがどうすればよいのですか？

A. 「新郎側」と「新婦側」の席次をそれぞれ別々に **Seating Planner** で決定してください。

本アプリケーションにはテーブルや参加者について「新郎側」「新婦側」を入力する欄がありませんが、まず「新郎側」のテーブルと参加者を入力して席次を決定し、次に「新婦側」のテーブルと参加者を入力して席次を決定すれば実現可能です。このさい、「保存」および「読み込み」機能を使うとそれぞれの結果を保存しておくことができるので便利です。

Q. 原則として「新郎側」「新婦側」にテーブルを分け、一部のテーブルのみその区別を無くすということは可能ですか？

A. 入力を工夫すれば可能です。

一部の結婚式では、大部分のテーブルは「新郎側」「新婦側」の区別をつけるが、主賓の方が座るテーブルのみ「新郎側」「新婦側」の相席とする、といった配置をする場合があります。例えば、すべてのテーブルが8人席であり、新郎側の主賓およびその関係者3人と新婦側の主賓およびその関係者5人のみ相席とする場合を考えてみましょう。この場合、新郎側の席次を決定する際に、最も上座のテーブルのみ3人テーブルとし、他を8人テーブルと入力します。グループおよびメンバーについては新郎側の参加者のみを記入します。新婦側についても同じように入力して席次をそれぞれ決定します。最後に、手作業により、新郎側の3人テーブルと新婦側の5人テーブルを合わせて8人テーブルとすれば、質問のような席次が決定できます。

Q. このアプリケーションはインターネットに繋がっていないと利用できないのですか？

A. いいえ、オフラインでも利用可能です。

動作中に通信は一切行いませんので、インターネットに接続されていない環境でもご利用いただけます。

Q. このアプリケーションはどのような環境で動くのですか？

A. 最新のブラウザが利用可能であればどのような環境でも動作可能です。

Internet Explorer 10以降、Firefox 24以降、Chrome 30以降、Safari 6以降での動作を確認しています。また、iPhone/Android等スマートフォンでの利用も可能です。